

8月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/08/18 (月)	東京は原油価格の動向に一喜一憂する展開。一時ドル安に振れて109円台を示現するも結局行って来い。欧米は発表された米経済指標が悪化したことを受けてドルが売れない。ただ110円台は辛うじて死守。	・6月の景気先行指数91.3 ・「ハロズ」誌「米GSEの公的資金注入が近い」 ・8月の米NAHB住宅価格指数16	・キャメロン英保守党党首「ロシアはG8メンバーとしてふさわしくない」 ・バキスタン大統領「私の辞表は今日議会に提出される」 ・米財務省「ファニーメイとフレディマックの支援計画はない」	ドル円	ユーロ円	24H
				110.33	162.07	寄付
				110.38	162.65	安値
				109.96	161.68	高値
				110.13	161.83	終値
08/08/19 (火)	東京は新規材料難で揉み合い。日銀会合も予想通り。そうしたなか利下げ観測をバクに豪ドルが売れない。欧米は独経済指標の悪化から当初はユーロ安。しかし米スタグフレーション懸念が取り沙汰されるとドル安へ。	・日銀会合で全員一致の金利据え置き、声明は「先行き当面低迷」 ・8月独ZEW景気先行指数 55.5 ・7月の米PPIは1.2%、同コアPPIは0.7%、同住宅着工件数96.5万件、同住宅建設許可93.7万件	・ホワイトハウス「現在のところ第2次景気刺激策は検討していない」 ・SEC委員長「新たな空売り規制、数週間以内に提案」 ・米財務長官「米中関係は非常に重要」	ドル円	ユーロ円	24H
				110.10	161.80	寄付
				110.33	162.40	安値
				109.55	160.86	高値
				109.72	162.12	終値
08/08/20 (水)	東京はゴト・日伸値不足など需給要因からドル/円は底堅い。一方、ライス発言がユーロの上値をキップ。欧米は米政府系住宅機関の動向をにらみ右往左往。ただドルを積極的に買い上げる向きは乏しかった。	・6月の全産業活動指数 0.9% ・8月日銀金融月報で現状判断を下方修正 ・BOE議事録「据え置き7、利上げ1、利下げ1で据え置き決定」 ・米財務省とGSE幹部緊急会合の噂	・米國務長官「ロシア、グルジア紛争で無法者化しつつある」 ・メアボリス連銀総裁「ファニーメイなどは業務を継続することが重要」 ・ファニーメイCEO「過去最大の資本を保有」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.66	162.23	寄付
				110.28	162.60	安値
				109.66	161.47	高値
				109.86	162.01	終値
08/08/21 (木)	東京は時間外取引で原油価格が急騰した流れからドルは売れない。1円以上急落し108円台へ。欧米は弱い米経済指標を受けてドルは続落。ただ日英欧も弱材料を抱えており、四辣み状態。	・7月貿易収支911.47億円 ・7月の米景気先行指数 0.7%、8月のFF連銀指数 12.7 ・米国とオランダがミサイル防衛網に関する合意、露との関係緊迫化、露産原油輸送中断懸念も	・オーストリア中銀総裁「欧州経済がリセッションに陥るリスクはない」 ・マイヤー元FRB理事「米国はリセッションに陥る瀬戸際」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.70	161.84	寄付
				109.74	162.20	安値
				108.13	160.19	高値
				108.46	161.61	終値
08/08/22 (金)	東京はアジア系中銀などによる怒涛の買いを受けドルは急騰。対ユーロなど含めて全面高の様相。欧米は米露の対立鎮静化観測やリマンB買収報道が好感されドルは続伸。110円台を回復して大引け。	・7日日銀会合議事録 ・第2四半期英GDP改定値0.0% ・一部報道「韓国産業銀行がリマンBの買収を検討」	・オバマ上院議員「米財政赤字の増加がドル相場を圧迫している」 ・露NATO大使「露はNATOとの軍事協力を一時凍結する」 ・FRB議長「燃料需要の純化が来年のインフレを緩和させる」	ドル円	ユーロ円	24H
				108.46	161.46	寄付
				110.15	163.11	安値
				108.45	161.46	高値
				110.08	162.85	終値
08/08/25 (月)	東京は株価の大幅高もあり円安が進行するもクロス円の下げに連れる格好でドル/円は行って来い。欧米は英国が休場となるなかリマンBの買収観測が後退したことなどを嫌気しドルは売れない。	・IMFが08年世界成長見通しを4.1%から3.9%に下方修正 ・7月の米中古住宅販売500万戸	・韓国金融サービス委員長が韓国産業銀による買収を懸念 ・露首相「WTO加盟交渉凍結の可能性」 ・露大統領「NATOによる如何なる制裁措置も受け入れる用意ある」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.93	162.52	寄付
				110.29	162.55	安値
				109.02	161.19	高値
				109.30	161.25	終値
08/08/26 (火)	東京はアジア中銀による介入資金調達の動きなどからドルが反発。NZドルが対円などで弱含み。欧米は独経済指標の悪化や米露の緊張懸念からユーロ軟調。米経済指標は総じて強ドルの買い材料に。	・第2四半期独GDP確定値 0.5% ・8月の独IFO景況指数94.8 ・FOMC議事録発表 ・6月ケースラー住宅指数 15.9%、7月の米新築住宅販売51.5万件、8月の米消費者信頼感指数56.9	・北朝鮮「核施設の無能力化を一時停止する」 ・露が南オセチヤ自治州とアブハジア自治共和国の独立を承認	ドル円	ユーロ円	24H
				109.32	161.01	寄付
				109.94	161.50	安値
				109.19	159.92	高値
				109.58	160.60	終値
08/08/27 (水)	東京は時間外で原油価格が大幅高となったことからドルが弱い。109円台まで大きくドル安が進行した。欧米は前日に続き発表された米経済指標が良好でドルの買い材料に。109円台を回復して大引け。	・7月の米耐久財受注1.3%	・独連銀総裁「利下げ議論は時期尚早」 ・アトランク連銀総裁「連銀はインフレ期待を抑制する必要がある」 ・ECB副総裁「賃金上昇の悪循環が引き締めを必要とする可能性も」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.56	160.47	寄付
				109.90	161.52	安値
				108.70	160.06	高値
				109.50	161.25	終値
08/08/28 (木)	東京は再び原油価格が上昇したことが嫌気されドル安へ。日経報道は物議醸すも影響限定的。欧米は米利権の動きに一喜一憂。原油相場が引き続き波乱要因となった。米GDP良好でドル買いへ。	・日経新聞朝刊「日米欧が今年3月、ドル防衛で秘密合意」 ・7月の独雇用者数4025.2万人 ・第2四半期米GDP改定値3.3%、同個人消費改定値1.7%、同コアPCE価格指数改定値2.1% ・7月の完全失業率4.0%	・篠原財務官「日経報道はノコメン」 ・仏外相「1日開催予定のEU緊急首脳会合で露への制裁措置協議」 ・ブランチワラー-BOE委員「英国は大幅な利下げが必要」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.40	161.32	寄付
				109.72	162.03	安値
				108.78	160.73	高値
				109.50	161.03	終値
08/08/29 (金)	東京は英紙報道から原油が上昇、再びドルが弱含み。円は対ドルだけでなく対ユーロなどでも堅調裡。欧米は日本の総合景気対策に対する期待感から円が堅調。とくにクロスで円買いが優勢。	・7月の米個人所得 0.7%、同個人消費0.2%、同コアPCE価格指数0.3%、8月のシカゴPMIは57.9、同ミシガン大消費者信頼感指数確報値63.0	・英テレグラフ「露が西側への石油輸出を制限する見通し」 ・オーストリア中銀総裁「2次のインフレリスクが高まりつつある」 ・マケイン上院議員「副大統領候補にアラソカ州のサ・ペイリン氏を選出」	ドル円	ユーロ円	24H
				109.42	160.87	寄付
				109.54	161.05	安値
				108.42	159.23	高値
				108.78	159.61	終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>